

## 今回の特集

災害から  
暮らしを守る家家族の暮らしを守るには  
災害に強い家に住むこと

外国にくらべて日本は、地震や津波、火山噴火、台風など、自然災害が発生しやすい世界有数の災害大国です。そのため、災害に対する国民の意識も高く、日頃から万が一に備えた防災対策を行っている方も多いのではないのでしょうか。ですが、いくら食料の備蓄や防災グッズを揃えても住む家が災害に弱ければ意味がありません。自然災害から家族の暮らしを守るには、災害に強い家に住むことが大きな安心につながります。

日本における過去の大規模災害を振り返ると、その多くは台風や大雨による水害と地震による震災が占めています。こうした傾向を踏まえると、防災を考慮した家づくりには、水害と震災への対策を優先すべきだということがわかります。

水害対策にはまず「立地」を考慮することが第一です。一般的には海や河川の近くや低地などが水害の危険性が高い土地だと言われています。「ハザードマップ」には水害の被害頻度やその範囲がマップ上で表されており、洪水や土砂災害、津波等のリスク情報をまとめて確認することができるので、立地選びの参考にすると良いでしょう。

構造上で水害に遭いにくくするには建物を「浸水」から守ることで

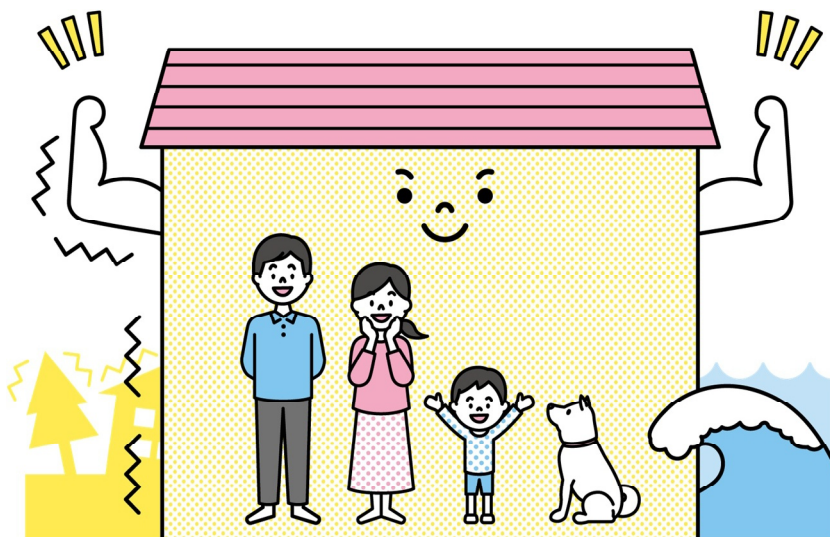
具体的な対策としては、敷地を「かさ上げ」する、もしくは基礎を高くすることで「浸水」を防ぐ方法です。ただこれには家の玄関まで階段が必要になったり工事費が割増になるなどのデメリットもあるため両面を把握した上で検討することが大切です。

震災に強い壁構造になる  
FP 軸組工法の安心住宅

地震対策も水害対策と同様に立地が大変重要です。地盤が固い土地は柔らかい土地に比べ、震度が小さくなるのが分かっており、液状化現象の発生頻度も低いと言われています。地震の被害予測は同じく「ハザードマップ」で確認できますので参考にしてください。

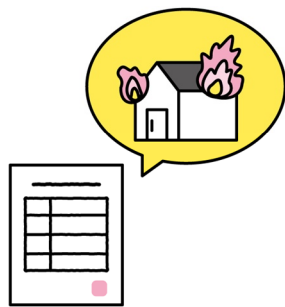
建物の耐震性を考えると、鉄筋コンクリート（RC）造は材料強度としては高いですが、建築費や解体費が高額で、あまり一般的ではありません。現実的にはやはり木造住宅が主流であり、その耐震性を高めることを考えると、柱と筋交いで作られた壁よりも柱と合板などの面材で作られた壁の方が壁倍率は高く、揺れに強い構造となります。

「FPの家」は、硬質ウレタンと木枠パネルを一体成形したFPウレタン断熱パネルを建物の躯体に組み込むため、一般の工法より強い剛性を備えた住宅です。また、断熱性はもちろん、高い気密性と耐水性を有しているため水害に非常に強い住宅でもあります。安心に暮らせる「FPの家」で防災への備えをしませんか。



# 住まいの知恵袋

## り災証明書



地震や風水害などの自然災害に加え、火災にあった際に住宅の被害状況を調査した上で被害の程度を証明する、被災者を支援するための手続きに必要な書類です。自然災害または火災による被災なのかによってり災証明書の請求先が異なります。自然災害による被災の場合は被災地の市町

村役場に、火災の場合は被災地を管轄する消防署に申請を行います。り災証明書は、り災台帳に登録した内容を証明するもので、保険金の請求や各種支援・救済措置などの手続きの際に提出を求められることがあります。被害の程度は、市町村による現地調査または自己判定方式により、「全壊」「大規模半壊」「半壊」「準半壊」「準半壊に至らない」の5つの区分に認定されます。

## お金の豆知識

### こどもみらい住宅支援事業



子育て・若者夫婦世帯を対象に、省エネ性能の高い住宅を新築、またはリフォームで最大100万円の補助金を交付する「こどもみらい住宅支援事業」が創設されます。新築住宅は省エネ性能のレベルにより、ZEHには100万円、認定長期優良住宅は80万円、最新の省エネ基準適合住宅は60万円と、補助金額が変わります。

## 暮らしの1ポイント

### 黄砂



春になると、中国の乾燥地域から偏西風に乗って日本に飛来する黄砂。従来は自然現象として理解されてきましたが、近年では森林減少や砂漠化の影響が大きく、環境問題としての認識が高まっています。黄砂自体は砂なので有害ではありませんが、空気中に漂う汚染物質を吸着するため健康への被害が懸念されます。

## 編集後記

いつも事務所に届くお花の中に今回はエアリーフローラが入っていました。石川県のオリジナル品種のフリージアで、開花の時期が卒業や入学など新たな旅立ちの時期と重なることからキャッチフレーズは『旅立ちを祝う花』、花言葉は『希望』だそうです。

段々と寒さも弱まり少しずつ暖かくなっていく春に向けて、かわいい花たちの良い香りを楽しみながら、わくわくした気持ちで仕事をしていきたいなと思いました。

まだまだコロナ禍は続きますが、感染対策をとりながら、お花見やドライブなど春を楽しめたらと思います。

# できた！ 簡単DIY

## DIY で使う木材とその種類



木材は加工しやすいためDIY初心者にとって身近な素材ですが、種類ごとに用途の向き不向きがあるため注意が必要です。例えば、木材を接着剤で貼り合わせて作られた集成材は木目が美しく反りや割れも少ないのでテーブルやイスを作るのに最適な木材です。また、ワンバイ(1×)材やツーバイ(2×)材と呼ばれる規格サイズのSPF材は材質が柔らかく加工しやすい反面、耐水性が低いので屋外で使う際は防腐処理が必要です。薄い板を貼り合わせたベニヤ合板は、価格も安く天然木やプラスチックなどで表面が加工されているものもあるため仕上がりがよく、棚を作るには最適です。このように、作る作品に合った木材を選んでDIYでいろいろな作品作りにチャレンジしてみましょう。

## Dr. 住まいる

### 食料・飲料などの備蓄



災害でライフラインが止まった場合の備えとしての備蓄。支援物資は災害から3日ほどで到着することから最低3日程度が目安と言われています。備蓄は循環させながら蓄えるローリングストックという方法がおすすめです。いつも使う食材を多めに購入し、賞味期限の手前で消費して再度追加すると無駄なく備蓄できます。

## 《ほりもと通信について》

「ほりもと通信」はホームページにも掲載しております。新しい情報も更新しております。ぜひ弊社ホームページからご覧ください。

※ほりもと通信のバックナンバーはこちら →



Instagram更新しています。

@horimoto\_koumuten

#ほりもとグラムで検索お願いします。

いいね！フォローお待ちしております。



HPのQRコード

↓はこちら↓



株式会社 堀本工務店

〒920-0005 金沢市高柳町4の1番地2

TEL:076-252-0288

メール:mail@horimotokoumuten.com

HP: https://horimotokoumuten.com